

中国株ウィークリーレポート

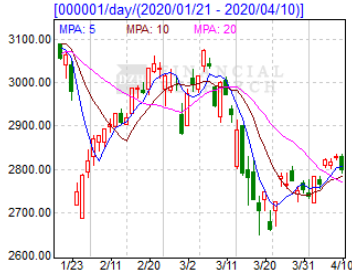
2020/4/13

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	23,719.37	285.80	1.22	12.67	-16.89	28,538.44
NASDAQ	8,153.58	62.68	0.77	10.59	-9.13	8,972.60
日経225	19,498.50	152.73	0.79	9.42	-17.58	23,656.62
上海総合	2,796.63	-29.27	-1.04	1.18	-8.31	3,050.12
滬深300(CSI300)	3,769.18	-23.63	-0.62	1.51	-7.99	4,096.58
ハンセン	24,300.33	329.96	1.38	4.58	-13.80	28,189.75
中国企業	9,811.12	129.17	1.33	3.37	-12.15	11,168.06

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は4.6%高と反発、上海総合指数は1.2%高

香港市場は10日がイースターの連休のため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で4.6%高と反発した。米国などで新型コロナウイルスの感染がピークアウトを迎えつつあるとの報道を受けて投資家心理が改善。米株高や中国の経済対策への期待などを背景に大幅な反発となった。週末の連休を前に持ち高調整の売りもみられたが、9日には終値で約1カ月ぶり高値を付けた。本土市場は6日が清明節の祝日のため4日間の取引。景気の先行きに対する警戒感の後退を受け、上海総合指数は4日間で1.2%高と反発した。

今週の展望: 香港市場はしっかりの展開か、感染ピークアウト観測で不安心理和らぐ

香港市場は13日がイースターマンデーで休場のため4日間の取引。海外で新型コロナウイルスの感染のピークアウト観測が高まるなか、世界景気の先行きに対する過度の警戒感が後退。今週は中国で14日に貿易統計、17日にGDPなど主要経済指標の発表が予定されているが、経済活動の本格的な再開でネガティブな反応も限定的となりそうだ。一方、大幅な悪化が見込まれる1-3月期の企業業績については個別に注意が必要か。本土市場も景気の先行きに対する過度の警戒感の後退しており今週はしっかりの展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 創科実業(00669)	56.85	17.46
2 銀河娛樂(00027)	48.00	17.07
3 申洲国際集団(02313)	87.60	12.45
4 長江インフラ(01038)	47.35	12.07
5 サンス・チャイナ(01928)	30.45	11.54
6 石業集団(01093)	16.94	11.01
7 長江和記実業(00001)	57.80	10.10
8 ファイナ・ユニコム(00762)	5.26	8.68
9 中国旺旺(00151)	5.75	8.29
10 HSBC(00005)	41.00	8.18

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国神華能源(01088)	14.16	0.14
2 中国工商银行(01398)	5.21	1.17
3 ファイナ・モバイル(00941)	61.60	1.57
4 瑞声科技(02018)	40.45	1.63
5 中国平安保険(02318)	76.25	1.67
6 AIAグループ(01299)	71.60	1.99
7 シバック(00386)	4.01	2.04
8 中国銀行(03988)	2.99	2.05
9 中国建設銀行(00939)	6.27	2.28
10 香港鉄路(00066)	42.30	2.42

▼今週の主なイベント

- 4月13日(月)
- 【香港】イースターマンデーで休場
- 4月17日(金)
- 【中国】GDP、固定資産投資(1-3月)、小売売上高、鉱工業生産(3月)

▼今週の期待材料

- ◆欧米で新型コロナウイルスの感染にピークアウトの兆し、新規感染者数が減少に向かえば世界景気の先行き懸念後退へ
- ◆中国の3月の融資増加額やマネーサプライM2が市場予想上回る、市場の金融緩和期待も継続
- ◆中国で企業活動が徐々に正常化、8日には湖北省武漢でも2カ月半ぶりに都市封鎖を解除

▼今週の懸念材料

- ◆中国の3月の新車販売台数が新型コロナウイルスの影響で前年同月比43%の大幅減、21カ月連続の前年割れ
- ◆米国で失業問題が深刻化、4月4日終了週の新規失業保険申請件数は市場予想を上回る660.6万件
- ◆17日発表予定の中国の1-3月期GDP成長率はマイナス成長の見通し、新型コロナで企業業績にも影響

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 東岳集団(00189): 水素エネルギー素材事業子会社の分離上場を計画
- ☆ 瑞安不動産(00272): 1-3月の不動産販売額が2.4倍に拡大、販売面積は41%減
- ☆ BYD(01211): マスク供給でソフトバンクグループと提携、1カ月3億枚
- ☆ 中国広核電力(01816): 1-3月期の発電量が6%増加、3月末時点で5基建設中
- ☆ 申万宏源集団(06806): 3月の営業収益が1%増加、純利益は24%増
- ★ 越秀地産(00123): 3月の不動産販売額が34%減少、販売面積は41%減
- ★ 東風汽車集団(00489): 3月の新車販売台数が62%減少、1-3月は46%減
- ★ 中国中車(01766): 1-3月期決算は納品減少で55-65%減益の見通し
- ★ 広州汽車集団(02238): 3月の新車販売台数が40%減少、1-3月は38%減
- ★ 国泰君安証券(02611): 3月の営業収益が25%減少、純利益は42%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。